

令和2年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立弘済みらい園（児童養護施設）・弘済のぞみ園（児童心理治療施設）
施設所管課・担当	こども青少年局こども家庭課要保護児童グループ
条例上の設置目的	児童福祉法第41条に基づき児童養護施設を設置するもの（みらい園） 児童福祉法第43条の2に基づき児童心理治療施設を設置するもの（のぞみ園）
業務の概要	児童養護施設の管理運営及び児童心理治療施設の管理運営
成果指標	①退所児童の家庭復帰後半年間の現況把握率 ②苦情解決第三者委員会による苦情解決率
目標	①100% ②100%
指定管理者名	(社福)みおつくし福祉会
指定期間	平成26年4月1日～令和4年3月31日（8年間）
評価対象期間	令和2年度分

2 管理運営の成果・実績

成果指標	①	②
数値目標	100%	100%
年度実績	100%	100%
達成率	100%	100%

利用状況（各年度3月1日時点）

	前年度	2年度	前年度比
利用人数	73	70	-3
稼働率	91.3%	87.5%	-3.8%

3 収支状況

収入		2年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	469,218,682	466,520,008	-58,061,318	入所児童数の減による
	計画	527,280,000	490,714,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	52,833,175	40,748,349	52,833,175	委託料収入及び寄付金収益
	計画	0	0		
合計	実績	522,051,857	507,268,357	-5,228,143	入所児童数の減による
	計画	527,280,000	490,714,000		

支出		2年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	344,898,969	325,865,668	344,898,969	
	計画				
管理運営費	実績	115,181,648	109,002,585	115,181,648	
	計画				
その他事業費 (自主事業支出)	実績		0	0	
	計画				
合計	実績	460,080,617	434,868,253	460,080,617	
	計画	0	0		

令和2年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価

(1) 成果指標の目標達成状況

評価項目	市の評価	特記事項
①	B	退所者支援担当職員を配置し（委託事業）適切に対応されたことにより、目標を達成している。
②	B	苦情解決第三者委員会に諮る事例は6件程度発生したが全件適切に対応されている。

(2) 市費の縮減

市費縮減に係る取組状況	市の評価	特記事項
児童入所施設等措置費の基準に基づき業務代行量を支出しており、市費縮減については不可能	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	市の評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービス向上		
施設の管理運営	A	両施設とも老朽化が進んでいるが、日常的な点検整備を欠かさないことで、入所者の安全に配慮されており、予防保全にも十分取り組んでいただいている。 併せて、措置費における加算職員等、処遇向上のための職員加配に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
市民サービスの向上	A	本施設は児童養護施設と児童心理治療施設の合築施設であり、単独設置施設では対応が困難な児童を積極的に受け入れるなど利用促進に取り組んでくれている。 また、施設内活動において、入所児童の満足度を高めるよう工夫を凝らした活動を展開している。
事業計画の実施状況	B	児童入所施設運営として適切かつ良好である。
施設の有効活用	B	同種別の施設や、同園域内施設との連携を通じて職員のスキルアップに努めたり新たな情報確保に努めるとともに、地域子ども会への参画など果たすべき役割を担っている。
社会的責任・法令遵守	B	適切かつ良好である。
勤務労働条件の確保		
個人情報保護対策		
環境への配慮		
就職困難者の雇用		

5 外部専門家意見

- ・アフターケア専従職員を中心とした退所者支援や多様なボランティアの受け入れ、子どもの生活単位のユニットから子どもの代表者を施設運営に参画させている取り組みなど非常に高く評価できる。
- ・個人情報保護について、厳格に保管・管理する仕組みを考え取り組み事故がないことは評価できる。
- ・現入所児童と措置予定児童のバランスやマッチングについては、児童相談所と共に認識を得る取り組みを検討されてはどうか。
- ・市の評価は妥当である。

6 総合評価

評価項目	評価	所見
成果指標の目標達成	B	目標達成してくれている。
市費の縮減	B	児童入所施設措置費を運営財源としているため、市費縮減是不可能である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	A	本施設は児童養護施設と児童心理治療施設の合築施設であり、単独設置施設では対応が困難な児童を積極的に受け入れるなど利用促進に取り組んでくれている。 また、施設内活動において、入所児童の満足度を高めるよう工夫を凝らした活動を展開している。
社会的責任・市の施策との整合	B	適切かつ良好である。
総合評価	B	